

# 令和5年度 予算要求状況について

## ◎予算要求額

### 1. 要求総額（一般会計＋特別会計）

歳入	429億9,089万円	+5.7%（前年度当初予算比）
歳出	451億9,208万円	+11.1%（前年度当初予算比）
財源不足額	22億119万円	6億322万円（前年度当初要求時比）

令和5年度予算の要求は、システム変更により事業、細々節等が大きく変更となったことから、枠配分方式を中止しました。予算要求段階での収支ギャップは、22億119万円（前年度当初要求時収支ギャップは15億9,797万円）です。

自主財源である市税は、ここ数年の動向から新型コロナウイルスの影響が少ないことを考慮した経済状況を見据え、約101億円の要求となりました。また、新型コロナウイルスワクチン接種対策費や保育所等整備交付金、社会資本整備総合交付金（道路整備分）などの国庫支出金の増により、歳入予算全体では、429億9,089万円と前年度当初予算より23億1,309万円（+5.7%）の増額要求となりました。

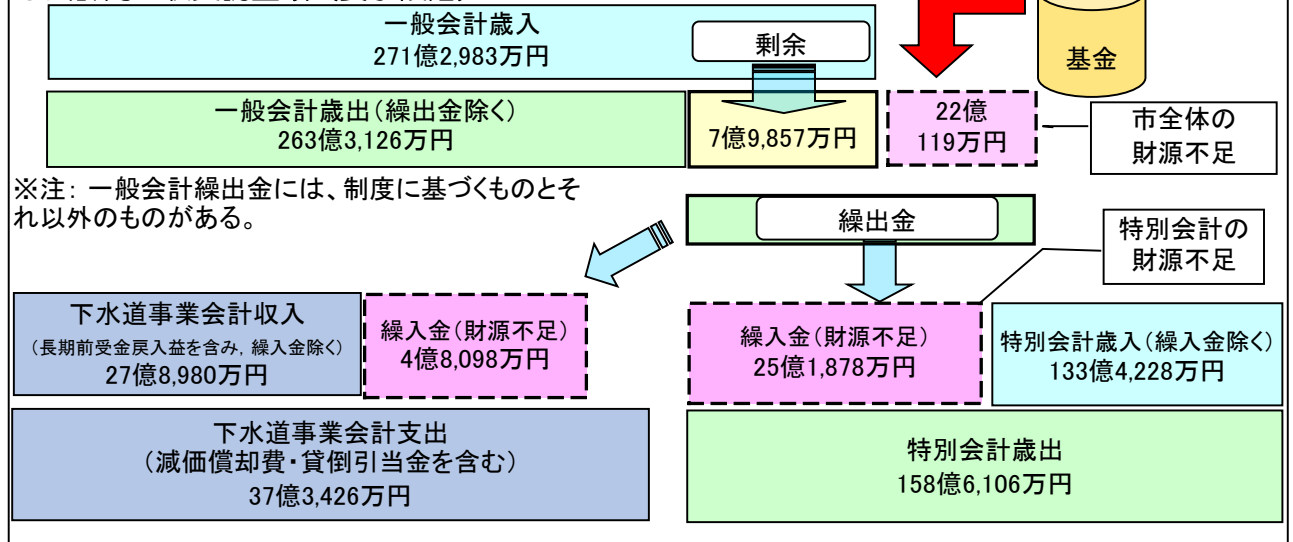
歳出では、市道第1-380号線（佐貫3号線）整備事業、新保健福祉施設建設事業のほか、障がい者自立支援をはじめとした社会保障関係経費などの増により、歳出予算全体では、451億9,208万円と前年度当初予算より45億1,428万円（+11.1%）の増額要求となりました。

### 2. 会計別要求状況

（単位：千円）

会計名	令和5年度要求額		令和4年度当初予算額	対前年度当初予算比		同増減率(%)	
	歳入	歳出		歳入	歳出	歳入	歳出
一般会計	27,129,827	29,331,018	25,760,000	1,369,827	3,571,018	5.3	13.9
国民健康保険事業特別会計	7,670,000	7,670,000	7,296,000	374,000	374,000	5.1	5.1
介護保険事業特別会計	6,117,246	6,117,246	5,805,000	312,246	312,246	5.4	5.4
障がい児支援サービス事業特別会計	88,818	88,818	77,500	11,318	11,318	14.6	14.6
後期高齢者医療事業特別会計	1,985,000	1,985,000	1,726,000	259,000	259,000	15.0	15.0
介護サービス事業特別会計			13,300	△ 13,300	△ 13,300	皆減	皆減
<b>特別会計 合計</b>	<b>15,861,064</b>	<b>15,861,064</b>	<b>14,917,800</b>	<b>943,264</b>	<b>943,264</b>	<b>6.3</b>	<b>6.3</b>
<b>総計</b>	<b>42,990,891</b>	<b>45,192,082</b>	<b>40,677,800</b>	<b>2,313,091</b>	<b>4,514,282</b>	<b>5.7</b>	<b>11.1</b>
下水道事業会計	収入予定額 3,270,781	支出予定額 3,734,260	3,328,589	△ 57,808	△ 25,240	△ 1.7	△ 0.7

### ○会計間の収支調整額（要求段階）



◎会計間の収支ギャップ調整の仕組み

1. 会計

区分	一般会計(繰出前)		特別会計(繰入前)		下水道事業会計(繰入前)	
歳入	271億2,983万円	+6.2%	133億4,228万円	+4.4%	16億9,910万円	-1.9%
歳出	263億3,126万円	+8.4%	158億6,106万円	+4.7%	21億8,473万円	-1.0%
財源不足額	+7億9,857万円		25億1,878万円		4億8,563万円	

※注:財源不足欄の+は、黒字。増減率は、前年度当初要求時比。

※注:下水道事業会計は収入・支出からそれぞれ長期前受金戻入益と減価償却費・貸倒引当金を除いた額。

2. 特別会計等繰入金要求状況(一般会計による補てん必要額)

(単位:千円)

会計名	令和5年度 要求額	令和4年度 当初予算額	対前年度 当初予算比	同増減率 (%)
国民健康保険事業特別会計	507,531	489,779	17,752	3.6
介護保険事業特別会計	970,859	932,494	38,365	4.1
障がい児支援サービス事業特別会計	70,232	56,733	13,499	23.8
後期高齢者医療事業特別会計	970,163	868,803	101,360	11.7
介護サービス事業特別会計		299	△ 299	皆減
<b>特別会計 合計</b>	<b>2,518,785</b>	<b>2,348,108</b>	<b>170,677</b>	<b>7.3</b>
下水道事業会計	480,977	464,811	16,166	3.5

◎今後の予算編成作業

予算要求段階での財源不足額は、総額22億119万円です。要求内容を精査し、事業効果・緊急性などを勘案した事業の厳選等によって歳出予算を削減するとともに、歳入を確保して、財源不足額の解消に最大限努力します。

なお、令和5年度政府予算案が未定のため、予算要求はおおむね現行制度に基づくものです。最新情報の収集に努め、今後の予算編成過程で弾力的に対応します。

